

新庁舎が ZEB ゼブ 認証を取得

環境に優しい庁舎を目指して

昨年10月より建設工事に着手している新庁舎は「環境に優しい庁舎」などを基本方針に、高断熱化やエネルギー消費の少ない機器の採用、地中熱や太陽光の再生可能エネルギーの導入などに取り組んでいます。これらの取り組みが評価を受け、空知管内の庁舎では初めて「ZEB Ready(ゼブレディ)」の認証を取得しました。

問合せ 総務課庁舎建設推進室建設推進係(☎26-2226)

ゼブ ZEBってな～に?

ZEB化した
新庁舎は…

環境への負荷と維持管理コストを
大幅に抑えることができる!

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で使うエネルギー消費を実質ゼロにすることを旨とした建物を表します。

今回認証を取得した「ZEB Ready」は、基準値と比べ1次エネルギー*50%以上削減が求められる区分。また、建築物省エネルギー性能表示制度「BELS(ベルス)」でも最高ランクの5つ星の評価を受けました。



▲認証表示板

「ZEB Ready」の認証取得は
空知管内の庁舎では初!

ZEB化で
財政負担
軽減

環境省の補助事業に採択

新庁舎のZEB化により環境省の補助事業「レジリエンス強化型ZEB実証事業」に採択されました。これにより、令和3年度から5年度の新庁舎建設工事で、約5億円の補助金が見込まれ、市の財政負担が軽減されます(財源見込みは下表のとおり)。

▼財源見込み

項目	広報R3.8月号掲載時	補助交付決定後
地方債	42億3,300万円	38億3,000万円
(うち地方交付税措置額)	(10億2,600万円)	(11億4,000万円)
補助など	400万円	5億6,000万円
一般財源	6億3,300万円	5億8,000万円
合計	49億7,000万円	49億7,000万円

*工事の進捗や補助の状況などにより増減する場合があります。



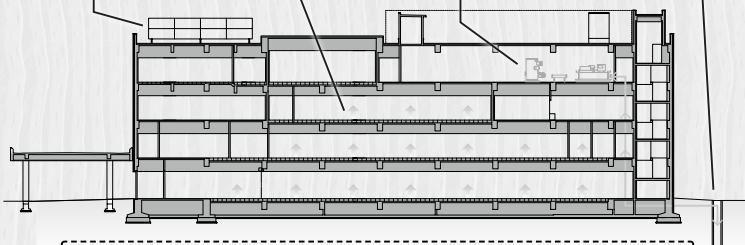
どのくらい削減できる?
【年間の1次エネルギー消費量】

新庁舎 46% **54%削減!**

従来の建物(基準値) 100%

どうやって実現するの? [取り入れる主な技術]

床吹き出し空調による高効率な換気と放射熱を利用した冷暖房
太陽光発電・蓄電池 高効率な熱源機器 地中熱を利用した熱源設備



- LED照明と南北の連続窓からの自然採光
- 外断熱工法や断熱性能の高いガラス・サッシなどの採用
- 最適なエネルギー管理を行うシステム(BEMS)の導入

工事の進捗状況を発信中!!

環境に配慮した新庁舎は、令和5年秋の開庁を目指し順調に工事が進んでいます。今年度は、基礎および1階床のコンクリート工事が完了しました。工事の進捗状況は、市ホームページで随時更新していますので、ぜひご覧ください。



▼リンクは
こちらから!

